

2024年度（令和6年度）

福山市教育委員会会議録（第12回）

【2月10日（月）開催】

福山市教育委員会

# 福山市教育委員会会議録（第12回）

1 招集年月日 2025年（令和7年）2月10日（月）  
午前10時00分

2 場 所 教育委員室

3 出席委員 4名

出席又は欠席	席番	名 前
出 席	1	小 林 巧 平
出 席	2	神 原 多 恵
出 席	3	横 藤 田 晋
出 席	4	小 丸 輝 子
欠 席	5	児 玉 雅 治

4 会議に出席した事務局職員

管理部長	藤 井 紀 子
学校教育部長	亀 山 貴 治
学校教育部参与	寺 田 拓 真
教育総務課長	亀 山 聰 子
政策調整官	手 島 智 幸
施設課長 兼学校再編推進室主幹	藤 野 原 啓 宏
学校再編推進室長	皿 海 三 樹 夫
学事課長	笹 尾 孝 治
学びづくり課長	片 山 富 行
学校保健課長	原 明 信
保育指導課長	村 上 洋 子

5 会議の書記

教育総務課総務政策担当次長	高 橋 香 織
教育総務課職員	矢 野 果 穂 菜

【開会時刻 午前10時00分】

小林教育長 | それでは、ただいまから、2024年度（令和6年度）第12回福山市教育委員会会議を開会いたします。

本日の議案ですが、議第52号、議第57号は人事案件ため、議第53号、議第55号、議第56号は意思決定過程案件ため、議第54号は議会提出案件のため、福山市教育委員会会議規則第13条第1項の規定により秘密会として審議したいと考えます。

御異議はございませんか。

全教育委員 | （異議なし）

小林教育長 | 御異議なしということで、これらの案件は秘密会とし、その他の案件は公開といたします。

ではまず初めに、日程第1 教育委員会会議録の承認についてです。2025年1月20日開催の第11回教育委員会会議録について、何かございますか。

全教育委員 | （異議なし）

小林教育長 | 御異議ないようですので、教育委員会会議録を承認することとし、会議終了後、委員の皆さまの署名をお願いいたします。

次に、日程第2 教育長報告についてです。

資料の1ページをお願いします。

1月21日からの報告です。1月から2月の十数日間、期末の校長面談を実施しています。21日は、福山地区公立学校校長会連合会第2回研究大会に出席しました。23日は、令和6年度第2回広島県市町教育長会議（兼）令和6年度第2回広島県GIGAスクール推進協議会が広島県庁であり、1人1台端末の利活用の推進やICTを活用した学校における業務改善の現状報告や協議を行いました。24日は、ばらのまち福山国際音楽祭実行委員会会議、26日は、第2回天野旗中学生サッカー大会表彰式に出席しました。30日は、第61回福山市学校保健大会を神辺文化会館で開催し、31日は福山市PTA連合会との懇話会を行いました。2月4日は、ゲタリンピック実行委員会様より、松永地域の小学校へ様々な備品の寄附をいただいた、寄附受納式を行いました。5日は、午前中に元氣大賞部門表彰で至誠中を訪問し、午後からは、2024年度（令和6年度）福山市善行児童生徒 全国中学校体育大会出場生徒顕彰式を行いました。6日は、中央図書館で移動図書館愛称決定セレモニーに出席しました。寄附いただいた2台目の移動図書館は6月稼働予定ですが、「わくわく号」という愛称に決定したセレモニーを行いました。午後からは第2回生涯学習振興基金運営協議会に出席し、来年度の要項等について協議しました。7日は、教育委員の皆様と東大阪市と八尾市へ教育メタバースなど不登校支援についての視察に行きました。本日は、第12回教育委員会会議です。報告は

以上です。

ご意見、ご質問はありませんか。

全教育委員

(なし)

小林教育長

次に、日程第3 事務局からの報告をお願いします。

片山学びづくり課長

2024年度(令和6年度)広島県児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査結果」についてです。資料の2ページをご覧ください。

(1)対象(2)実施期間(3)内容については、ご覧のとおりです。

(4)本市の結果についてです。(ア)は、運動やスポーツへの意識を学年別で示しています。小学校5年生、中学校2年生ともに、「運動やスポーツをすることが嫌い、やや嫌い」「授業が楽しくない、やや楽しくない」と回答した児童生徒の割合が昨年度より増加しています。(イ)は、男女別で示しています。「運動やスポーツをすることが嫌い、やや嫌い」と回答した割合が、男子で0.1ポイント増加、女子で3.3ポイント増加しています。

3ページをご覧ください。イ 体力についてです。小学校5年生は、全ての種目で昨年度より記録が下回りました。中学校2年生は、18種目中6種目で、昨年度より記録が上回りました。

総合評価の合計点をご覧ください。小学校5年生男女及び中学校2年生女子は、昨年度より下回っていますが、5段階評価は、昨年度と同様です。

(5)考察についてです。運動やスポーツへの意識や体力が低下傾向にある要因は、運動やスポーツの経験が乏しいことや、楽しさを十分に感じる事ができていない児童生徒の増加が考えられます。

(6)今後の取組についてです。各学校は、「子どもが主体となった体力向上計画」を作成し、授業改善や体力向上に向けた取組を進めています。市教委は、成果につながっている学校の取組を全校に共有するとともに、授業改善を目的とした研修を行います。以上です。

原学校保健課長

資料7ページをお願いします。2、通学路の安全対策についてです。

(1)趣旨についてです。本市は、2014年(平成26年)7月に「福山市 通学路交通安全プログラム」を策定し、以後、2年に1回合同点検を実施し、小学校の通学路の交通安全の確保に向けた取組を行っています。2022年(令和4年)2月には、本プログラムに中学校を追加し、総合的な通学路の安全確保に繋げているところです。これまで、教育委員会、学校、道路管理者、警察、関係団体などが緊密な連携を図り、組織的・継続的に通学路の安全確保に努めており、本年度6回目の合同点検を行いましたのでその結

果と2年前の合同点検などに基づく対策の実施状況を報告するものです。

(2) 本年度の取組経過についてです。本年度は、4月以降、前回合同点検分の対策を引き続き実施し、5月の福山市通学路安全推進会議で今年度の合同点検の取組方針を決定し、9月から10月にかけて、合同点検を行いました。点検内容は、9月～12月の間で集約を行い、本年1月に、学校・地域・道路管理者・警察による対策案の策定を行ったところです。今月中には、福山市通学路安全推進会議へ対策案の報告を行う中で対策を決定していくこととしております。

続いて、(3) 2024年度(令和6年度)合同点検の結果及び対策案についてです。2024年(令和6年)12月末現在の小中学校別内訳表でお示ししています。ア 危険箇所抽出学校数は小中学校併せて73校であり、イの合同点検箇所数は329箇所です。ウ、前回合同点検分からの繰越分は、87箇所、エ、対策必要箇所数は410箇所となります。エのa 対策案策定済件箇所355箇所に係る対策案策定済件数は565件です。

8ページをお願いします。イの対策案策定済件数565件の内訳についてです。数値は、小中学校の合計で、かっこ内は、中学校の件数です。(ア) 道路管理者の対策内容は、歩車道境界の明示やドライバーへの注意喚起などで、件数は、国、県、市あわせて373件です。(イ) 警察の対策内容は、横断歩道や規制標示の修復などで、件数は、89件です。(ウ) 学校・地域の対策内容は、交通安全指導の実施、通学路の変更などで件数は、103件です。

次に、9ページ、(4) 2022年度(令和4年度)合同点検の対策実施状況についてです。2024年(令和6年)12月末現在の状況です。アの危険箇所抽出学校数は、82小中学校で、対策必要箇所数は、エの492箇所です。このうち、オの対策着手済の箇所数は444箇所、着手率は90.2%です。カの対策実施済の箇所数については324箇所、実施率は65.9%です。キ、エの対策必要箇所に係る対策件数については、709件、ク 対策実施済の件数は、497件、実施率は70.1%です。

次にイ、対策実施済件数の内訳についてです。(ア)の道路管理者は、国、県、市あわせて、273件(イ)警察は、126件、(ウ)学校・地域は、98件の対策をそれぞれ実施いたしました。

(5) 今後についてです。対策内容は、3月下旬に市のホームページで公表する予定です。また、交通安全指導などのソフト対策は、合同点検後速やかに各学校において継続的に実施し、ハード対策につきましては、地域と連携の下、道路管理者、警察が計画的に実施することとしています。この結果についても、引き続き、定期的にとりまとめ、公表してまいります。説明は、以上です。

前田福山中・高等学校事務長

11ページをお願いします。3 福山市立福山中学校入学者選抜受検状況についてご報告いたします。2025年度(令和7年度)は、定員120名に対し、志願者数は、391名、志願倍率は3.26倍でした。入学者選抜は1月25日(土)に行われ、受検者数

	<p>は386名（欠席5名）、受検倍率は3.22倍でした。</p> <p>選抜結果については、2月5日（水）までに、受検者全員に郵送で通知しています。</p> <p>また、志願者が在籍する学校長には、2月20日（木）以降に、受検した志願者の選抜結果の一覧表を送付する予定です。説明は以上です。</p>
村上保育指導課長	<p>12ページをご覧ください。</p> <p>2025年度（令和7年度）福山市立幼稚園入園申込状況について説明します。表の1番上に2025年度（令和7年度）入園予定児数をお示ししています。</p> <p>1月31日時点の入園予定児数は、3歳児が77人で2024年5月1日の園児数と比べて28人増、4歳児が89人で10人減、5歳児が102人で14人減、合計268人で4人増となっております。</p> <p>道上幼稚園は、2024年度（令和6年度）に長寿命化工事を終え、2025年度（令和7年度）からは、リニューアルした園舎で新たに3歳児の保育を開始します。以上です。</p>
小林教育長	<p>ご意見、ご質問はありませんか。</p>
横藤田委員	<p>資料8ページの通学路についてですが、道路管理者のドライバーへの注意喚起はどのようにしていますか。</p>
原学校保健課長	<p>道路への「横断児童あり」との表示や、横断歩道を青色表示にするなど、警察が行う規制標識以外の道路標示の整備を行い、注意喚起しています。</p>
横藤田委員	<p>資料に記載があるのは、ほとんどハード面のことだと思います。</p> <p>私の家の周りは道が狭く、小学生は列で並んで歩いていますが、中学生は道幅いっぱい広がって歩いている状況をよく見かけます。ソフト面として、子どもに道路使用の指導などを行うことで交通安全につながると考えます。各学校さらに力をいれて指導していただけたらと思いました。</p>
原学校保健課長	<p>ありがとうございます。中学生になると自転車通学も増えていきます。新学期も始まるため、自転車の乗り方など生徒が自ら法律を守り、命を守る指導をしていけたらと思います。</p>
神原委員	<p>道路の凸凹で子どもがこけるのを見たことがあります。歩きにくい道路は点検の対象になりますか。</p>
原学校保健課長	<p>道路の凸凹については、整地などを行っています。資料9ページの表に維持管理の項目がありますが、その中の数に入っています。</p>
神原委員	<p>このケースは、維持管理の件数に入っているということですか。</p>

原学校保健課長	その通りです。道路の舗装など修復を行っています。
神原委員	市立幼稚園の入園申込状況ですが、3歳の2024年度幼稚園入園児童数と4歳の2025年度幼稚園入園予定児童数を比べると約40人増えていますが、理由がありますか。
村上保育指導課長	3年保育を確立させていくということで取組を行っています。小学校との幼小連携の充実を図ってきているため、入園児童数が増えているという実態もあります。
横藤田委員	昨年と比べると約1.5倍増えていますが、保育所が定員に達していて、仕方なく幼稚園に入園したということが原因ではないのでしょうか。
村上保育指導課長	幼稚園にも保護者支援という視点は持っていかないといけないと思っています。今年度から春休み、夏休み、冬休み期間の預かり保育を全日行うよう方向転換しました。保育内容が一番ではありますが、子育て支援の観点をもち運営をしていくということが、保護者からも支持されているのではと考えています。
横藤田委員	福山市の幼稚園のあるべき姿がここ数年話題になっていて、幼稚園の数が減っている中、このように園児が増えるということは存在価値がありとても良いことだと思います。 私立幼稚園の話ですが「土曜日預かりをお願いすると嫌な顔される」という話をききました。夫婦共働きで2人とも土曜日出勤しないといけないときは預けないといけないのに「先生達を休ませて下さい」と言われるそうで、とても預けにくいとのこと。福山市立幼稚園は土曜預かりをしていますか。
村上保育指導課長	土曜日の預かりは行っておりませんが、基本的に保育施設、その他の子ども園や保育所などが一時保育という形で預かりを行っており、利用されるケースはあります。
小林教育長	他に、何かありますか。
全教育委員	(なし)  報告は以上です。
小林教育長	それでは、次に、日程第4 議第51号 福山市学校教育環境検討委員会への諮問について を議題とします。 説明をお願いします。
皿海学校再編推進室長	資料13ページをお願いします。議51号 福山市学校教育環境検討委員会への諮問について説明します。 1、趣旨についてです。子どもたちを取り巻く環境や学校の課題がより複雑化・多様化する中、これまでの学校再編の成果と課題を

踏まえ、本市がめざす学びを実現する学校教育環境の在り方を改めて検討するため、福山市学校教育環境検討委員会条例第2条の規定により、次に掲げる事項について諮問するものです。

2、諮問事項については、(1) これまでの取組を踏まえた今後の学校再編の在り方について (2) 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について (3) 学校と家庭・地域、企業等が協働した学校運営の在り方についての3点です。

3、諮問理由についてです。本市では、これまで、2015年度(平成27年度)に策定した「福山市小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」などに基つき、一定の集団規模の教育環境を整えるため、学校再編に取り組んできました。また、2019年度(令和元年度)に策定した「福山市学校施設長寿命化計画」に基つき、子どもたちが安心、安全な施設環境の中で学習活動を行うことができるよう、計画的に施設整備を進めていくこととしています。本市においても少子化が進行しており、30年後の2054年度(令和36年度)には、市立小学校、中学校及び義務教育学校の児童生徒数は現在の半数近くに減少すると推計されます。さらに、特別支援教育の対象や外国人、不登校の児童生徒の増加などに対して、適切な支援が求められています。児童虐待、ヤングケアラー、貧困など、子どもたちの抱える困難は多様化・複雑化しています。将来の予測が困難な時代の中で、GIGAスクール構想などのデジタル技術の発展と相まって、激しい変化が止まることのない社会を生きる子どもたちには、学び続ける力、新しいものを創り出す創造力、他者と協働して問題を解決する力が今後一層求められています。

14ページをお願いします。一方、教師不足など教師を取り巻く状況も厳しさを増す中で、子どもたちの資質・能力、学力と豊かな人間性を育むためには、質の高い人材の確保や、教職の魅力を向上させることが喫緊の課題となっており、教師が意欲と能力を最大限発揮できる環境整備が必要です。また、本市の学校施設は、建物の老朽化が進み、今後、建替えや大規模な改修が集中してきます。これからの学校施設は、施設全体を学びの場として捉え、柔軟で創造的な学習空間を実現していくことが求められています。学校の運営体制についても、教育委員会と学校、家庭、地域、企業など、それぞれがその責任に応じて役割を果たすことが重要であり、コミュニティ・スクールの仕組みを使った効果的な学校運営が必要です。以上のような観点から、諮問事項でお示した3つの事項を中心に、福山市がめざす学びを実現する学校教育環境の在り方について審議の上、答申をいただくため諮問するものです。説明は以上です。

小林教育長

ご意見、ご質問はありませんか。

全教育委員

(なし)

小林教育長

ないようですので、お諮りします。

議第51号は、原案どおり可決してよろしいでしょうか。

全教育委員

(異議なし)

小林教育長

御異議ないようですので、議第51号は原案どおり可決しました。

それでは、これより秘密会とします。

(非公開部分)

予定しておりました議案はすべて審議いたしましたが、他に何かありますでしょうか。

全教育委員

(なし)

小林教育長

ないようですので、本日の教育委員会会議はこれで終わります。なお、次回の教育委員会会議は、2025年3月14日(金)午後3時からを予定しています。

本日はこれで終了といたします。ありがとうございました。

**【閉会時刻 午前11時30分】**